

転倒に注意！

慌ただしい年末年始は、転倒などにつながる不安な行動をしがちです。また、雪や凍結した路面も注意が必要です。しっかりと対策をして、安全を確保しましょう。



チェックしてみよう! 例えば…

- 通路や出入り口、階段などに物を放置していないか
- 床、通路などの水、油、粉類はその都度取り除いているか
- 安全に移動できるように、十分な明るさ(照度)が確保されているか
- 台車などは、荷が崩れたりしないよう安全に使用しているか
- 階段の滑り止めは外れていないか
- 段差のある箇所や滑りやすい場所に、注意を促すステッカー(標識)を掲示しているか
- 作業靴の底がすり減って滑りやすい状態になっていないか
- 転倒などを予防するための教育を行っているか

冬季の安全運転

交通事故は年の後半に多くなる傾向にあり、特に12月に多発しています。一人ひとりが安全運転を心がけるとともに、毎日のミーティングなどでも繰り返して注意喚起しましょう。

■出発前の準備

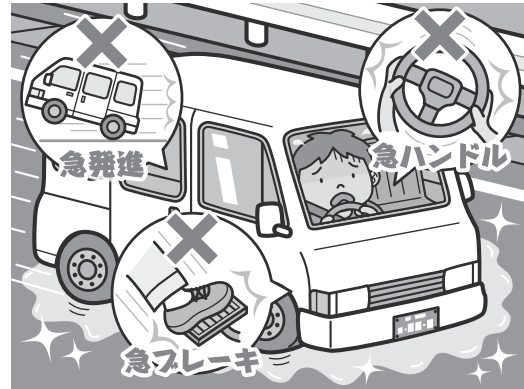
- ・目的地方面の交通情報や降雪など気象情報を収集。
- ・タイヤの摩耗状態、燃料の補給、タイヤチェーンの使い方などを事前に確認。冬タイヤでも走行困難になることがあるため、タイヤチェーンは必ず携行する。

■「急」のつく運転を避ける

- ・急ハンドル、急ブレーキ、急発進などは、スピンやスリップの原因になる。時間と心に余裕を持って!

■凍結しやすい場所に注意

- ・橋の上、日の当たらない道路、交差点やカーブの手前などは凍結しやすいので、あらかじめスピードを落として徐行運転する。



従業員50人未満の事業者・従業員の皆様へ

地域産業保健センター をご存知ですか

地域産業保健センターは、産業保健総合支援センターの地域窓口として、労働者50人未満の小規模事業者の事業者や小規模事業場で働く人を対象に、労働安全衛生法で定められた保健指導などの産業保健サービスを無料で提供しています。労働者の健康管理に、ぜひご利用ください。

健康診断の結果についての
医師からの意見聴取
(労働安全衛生法第66条の4)

産業保健の専門家による
職場巡視の実施

事業場訪問による
健康相談・講話の実施

労働者の健康管理
(メンタルヘルスを含む)に係る
相談対応

高ストレス者や
長時間労働者に対する
医師による面接指導
(労働安全衛生法第66条の8等)

事業場訪問による
保健指導
(労働安全衛生法第66条の7)

ご利用は
無料です



お問い合わせは
こちら
埼玉産業保健総合支援センター
TEL : 048-829-2661
<https://saitamas.johas.go.jp>

埼玉県内11か所の地域産業保健センターが
小規模事業者の健康管理を支援します

- | | | | |
|----|------------|-----|------------|
| 浦和 | 地域産業保健センター | 川越 | 地域産業保健センター |
| 与野 | 地域産業保健センター | 春日部 | 地域産業保健センター |
| 朝霞 | 地域産業保健センター | 所沢 | 地域産業保健センター |
| 川口 | 地域産業保健センター | 行田 | 地域産業保健センター |
| 大宮 | 地域産業保健センター | 秩父 | 地域産業保健センター |
| 熊谷 | 地域産業保健センター | | |

詳しくは地域産業保健センターのページをご覧ください。



地域産業保健センターの利用には事前の申し込みが必要です。また年度内の利用回数に制限がありますので、詳しくはお問い合わせください。

独立行政法人労働者健康安全機構 埼玉産業保健総合支援センター
〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町7-5-19 あけぼのビル5F
TEL:048-829-2661 FAX:048-829-2660
<https://www.saitamas.johas.go.jp>



ご利用いただける日時
午前8時30分～午後5時15分(月～金曜日)
休日: 毎土・日・祝 年末年始



「無災害記録証（第1種～第3種）」の伝達について

埼玉労働局労働基準部健康安全課

厚生労働省では、一定の期間において労働災害を発生させなかった事業場に対して「無災害記録証」を授与しております。

これは「無災害記録証授与内規」により無災害であった労働時間数等に応じて、第1種から第5種までの5段階の無災害記録証を授与できる制度で、事業場からの申請に基づいて、厚生労働省労働基準局長名の無災害記録証を授与いたします。

今般、秩父労働基準監督署管内の下表の事業場が第1種から第3種までの業種及び規模等に依りて、各無災害記録時間が達成し、令和5年11月22日（水）に農園ホテル（秩父市）で開催された秩父労働基準連合会※主催の「令和5年度秩父地区安全衛生表彰式」において、埼玉労働局の北代昌巳労働基準部長から「無災害記録証」を達成事業場にそれぞれ伝達いたしました。

種別等	事業の種類	事業場名（所在地）	📷
第3種（210万時間）	セメント・同製品製造業	フネンアクロス株式会社 秩父工場 （秩父市大野原 2773）	①
第2種（180万時間）	金属製品製造業	ジュウゼン製造株式会社 （秩父郡皆野町大字大淵 97-1）	②
第2種（530万時間）	電気機械器具製造業	株式会社ユタカ電機製作所 秩父技術センター （秩父郡皆野町大字皆野 1632）	③
第1種（350万時間）	電気機械器具製造業	石川電気株式会社 （秩父市上宮地町 30-20）	④
第1種（350万時間）	電気機械器具製造業	株式会社秩父富士 長若事業所 （秩父郡小鹿野町般若 874-1）	⑤



集合写真前列左から 北代部長、①白戸清和製造本部秩父工場長、②宮前安雄代表取締役社長、③田口彰彦総務グループリーダー、高橋信一郎連合会長、後列左から 繁野北斗健康安全課長、④播磨 良電線製造課リーダー、⑤神田 修本社総務部主幹、里 勝弘秩父労働基準監督署長

※「秩父労働基準連合会」；労働災害防止団体である一般社団法人秩父地区労働基準協会、建設業労働災害防止協会埼玉県支部秩父分会、林業・木材製造業労働災害防止協会埼玉県支部秩父分会で構成する団体

「無災害記録証」に関する詳細については、最寄りの労働基準監督署又は埼玉労働局労働基準部健康安全課（☎048-600-6206）までお問合せください。

中央労働災害防止協会

中小企業無災害記録証授与制度の活用のおすすめ

労働災害のない安全で快適な職場で働くことは、仕事に従事するすべての人々とその家族の願うところです。

しかしながら、労働災害は今なお多数発生してあり、中でも中小規模事業場での災害発生率の高さが指摘され、中小企業における安全衛生水準の向上が強く望まれています。

中央労働災害防止協会では、中小企業が自主的に安全衛生活動を進める上での目標となるよう「中小企業無災害記録証授与制度」を設けています。この制度開始以来、経営者、従業員が一丸となって安全衛生活動を進め、無災害記録を達成した多くの事業場に無災害記録証が授与されています。

災害ゼロの安全で快適な職場づくりに向けて、是非この制度をご活用ください。

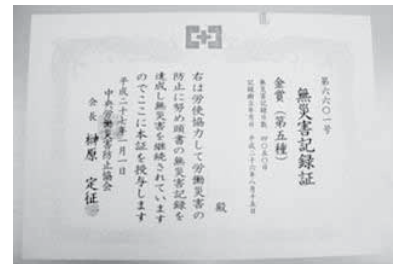
表彰の対象となる事業場は次の要件をいずれも満たしている事業場です。

- ・ 中小企業（資本の額又は出資の額の総額が1億円以下又は常時使用される労働者数が300人以下の企業）に属する事業場
- ・ 労働者が10人以上100人未満の事業場

無災害記録とは

業務上死亡又は休業災害の発生していない状態が続いたある一定の日数の場合に無災害記録の対象となります。なお、本制度における休業災害とは、休業1日以上をいい、身体障害の対象となる不休災害を含みます。

また本制度においては、通勤災害は基本的には業務上における災害となりません。



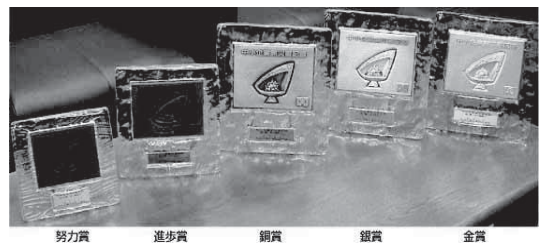
無災害記録証表彰状

記録証の授与

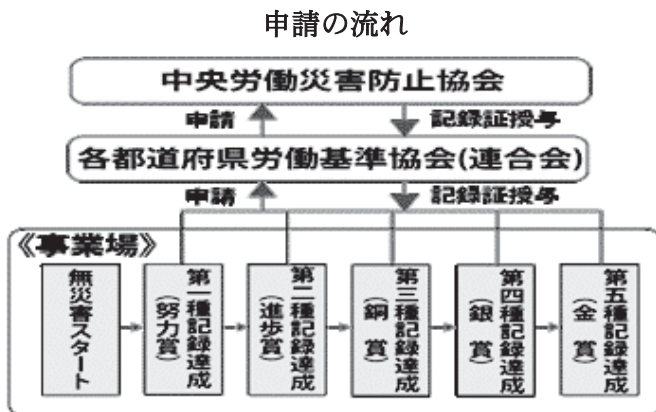
申請内容が規程に合致した事業場には、中小企業無災害記録証と副賞（表彰楯）が授与されます。

中小企業無災害記録証授与制度の詳細については、中央労働災害防止協会ホームページでご確認できます。

内容の確認、申請等のご相談については、埼玉労働基準協会連合会までお気軽にお電話ください。



努力賞 進歩賞 銅賞 銀賞 金賞



埼玉県特定（産業別）最低賃金改正のお知らせ

埼玉労働局労働基準部賃金室

埼玉県最低賃金（時間額 1,028 円）の改正に続き、令和5年 12 月1日から埼玉県特定（産業別）最低賃金も改正されました。


特定（産業別）最低賃金とは、関係労使が埼玉県最低賃金よりも高い金額水準の最低賃金を定めることが必要と認める産業に適用されるもので、埼玉県内で下表の産業を営む使用者は、労働者に対して対応する特定（産業別）最低賃金額以上の賃金を支払う必要があります。

なお、派遣労働者の最低賃金については、派遣元の事業場の所在地にかかわらず、派遣先の最低賃金が保障されます！

【最低賃金の周知義務について】

使用者は、最低賃金の概要を常時作業場の見やすい場所に掲示する等の方法により労働者に周知しなければなりません。

埼玉労働局のホームページに掲載用リーフレットを掲載していますので、ご活用ください。

 [埼玉労働局ホームページのトップページ](#)▶
「最低賃金の詳細」▶ [埼玉県の最低賃金一覧表（印刷用）](#)

詳しくは、埼玉労働局労働基準部賃金室（☎048-600-6205）又は最寄りの労働基準監督署までお問合せください。

地域別最低賃金	時間額	引上げ額	引上げ率	改正発効日
埼玉県最低賃金	1,028円	41円	4.15%	令和5年 10月1日
特定（産業別）最低賃金	時間額	引上げ額	引上げ率	改正発効日
埼玉県非鉄金属製造業最低賃金	1,048円	42円	4.17%	令和5年 12月1日
埼玉県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金	1,055円	42円	4.15%	
埼玉県輸送用機械器具製造業最低賃金	1,055円	42円	4.15%	
埼玉県光学機械器具・レンズ、時計・同部分品製造業最低賃金	1,064円	42円	4.11%	
埼玉県自動車小売業最低賃金	1,060円	42円	4.13%	

厚生労働大臣新規認定企業について

埼玉労働局雇用環境・均等部指導課

【令和5年10～11月における認定企業】

認定区分	企業名（所在地）	段階	認定年月
「えるぼし」 女性活躍推進に関する取組の実施状況が優良である企業 	正和工業 株式会社 (春日部市)	3段階目	令和5年10月
	株式会社 アイダ設計 (さいたま市大宮区)	3段階目	令和5年11月

認定申請等に関する詳細は、埼玉労働局雇用環境・均等部指導課（☎048-600-6269）までお問合せください。

「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催

埼玉労働局労働基準部監督課

令和5年11月6日（月）14時から、さいたま市大宮区のソニックシティ4階市民ホールにおいて、「過労死等防止対策推進シンポジウム」を埼玉県・埼玉弁護士会後援のもと、約100名の県民の皆様にご参加いただき開催しました。



シンポジウムの様子

冒頭、主催者として久知良俊二埼玉労働局長から「厚生労働省では過労死等を防止するため、毎年11月を『過労死等防止啓発月間』と定め、その月間における取組の一環としてこのシンポジウムを開催しており、過労死等を防止することの重要性を県内の事業場・働く方をはじめとした県民の皆様幅広く周知を図ることを目的としています」と開会挨拶を行い、続いて、久保佳代子埼玉県産業労働部雇用労働局長から後援者挨拶をいただきました。



開会挨拶をする久知良二埼玉労働局長（左）と
後援者挨拶をする久保佳代子埼玉県雇用労働局長（右）

その後、埼玉労働局労働基準部の宮地延幸監督課長から「埼玉労働局からの現状報告」として、令和5年度版過労死等防止白書の内容（過労死等をめぐる調査・分析結果等）について報告がありました。



報告する宮地課長

「企業の取り組み事例発表」としては、田部井建設株式会社代表取締役の田部井俊一社長から「我が社における長時間労働削減への取り組み」と題して、勤怠管理システム・経費精算システムの導入や建設DX：3Dレーザーキャナーによる3次元測量による作業に必要な人員の作業日数の削減や生産性向上のための取組として、社員研修による人材育成や働きやすい職場環境の整備等について、事例発表がありました。



事例発表をする田部井社長

また、過労死を考える家族の会からの体験談では、過労死に至る前の対処法について話をいただきました。



講演する天笠氏

基調講演では、静岡社会健康医学大学院大学准教授の天笠 崇 医学博士から「過労死・過労自殺予防のための法令順守のために～ポストハラスメント防止法の今：あらためて過労自殺予防対策を考える～」と題して、過労死・過労自殺の歴史的な位置づけ、法令整備の歴史的な振り返り、ハラスメント防止法についての話があり、これからのハラスメント防止対策としては、法令順守はもちろん、マクロでは「ビジネスと人権」の視点、ミクロでは「参加型職場環境改善」が今、求められている旨の講演をいただきました。

最後に、埼玉弁護士会の渡邊健二弁護士が閉会挨拶を行って、本シンポジウムのプログラムが終了しました。

「埼玉産業安全衛生大会 2023 ―働く人の安全と健康のつどい―」を開催

令和5年10月19日(木)、「埼玉産業安全衛生大会 2023―働く人の安全と健康のつどい―」がさいたま市民会館おおみや(Rai BoC Hall)小ホール(さいたま市大宮区)において、埼玉労働局・埼玉県後援のもと、県内26の労働災害防止関係団体等で構成される埼玉労働災害防止関係団体等連絡協議会(災防協)の主催により開催されました。



開会式では、主催者を代表し災防協の建設業労働災害防止協会埼玉県支部長の島村健副会長が開会の挨拶を行いました。

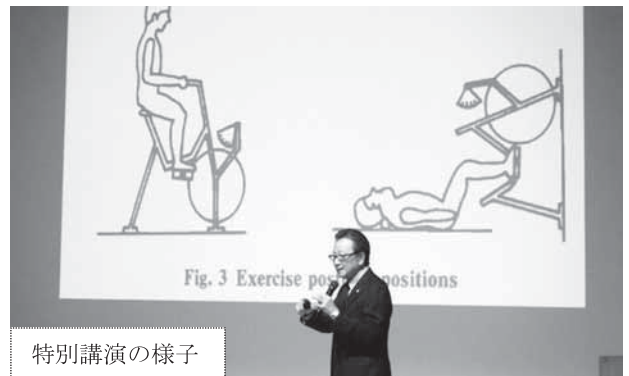


また、来賓の久知良俊二埼玉労働局長と久保佳代子埼玉県産業労働部雇用労働局長から挨拶をいただき、県内の各労働基準監督署長などの来賓が紹介されるとともに、主催者側の各労働災害

防止関係団体などが紹介され、本大会には、県内事業所の労務・安全衛生担当者など約300名を超える方々にご参加いただきました。



事例紹介では、「行動災害を防止するための対策～企業の実践事例の紹介～」と題して、埼玉労働局労働基準部の繁野北斗健康安全課長と社会福祉法人杏樹会、富士薬品株式会社、株式会社カインズから各担当者が登壇して、パネルディスカッションが行われ、それぞれ企業の取組事例が紹介されました。



特別講演では、中京大学名誉教授の湯浅景元医学博士から「安全に働くための体力づくり～トップアスリートから学ぶ～」と題して、筋力トレーニングの重要性など興味深い内容の講演をいただきました。

最後に、参加者を代表して株式会社ユーディーケーの伊藤喜久安全環境課長から労働災害のない安心して働ける職場環境の実現に向け、決意を新たに労働災害防止と健康障害防止対策に全力で取り組むことを誓う大会宣言案が読み上げられ、満場の拍手で採択されて本大会が終了しました。

◆ 各種講習会・行事 ◆

会場の利用方法上から本表作成時に会場借用が確定していない場合は予定時期を記載してあります。
講習会等の詳細案内はホームページにて行っています。

講習等の種類		開催月/日	開催場所	主・共催者等
技	プレス機械作業主任者技能講習	1/31・2/1	川口機械工業協同組合	連合会・川 口
		5/16・17	熊谷市立勤労会館	熊 谷
能	フォークリフト運転技能講習	2/28・3/5・6・7	行田市商工センター・むさしの村	行 田
		2/29・3/2・9・10	川口機械工業(協)・日本地工(株)	川 口
		3/2・5・6・7	埼玉県トラック協会東部会館	春日部
		5/13・16・17・18	埼玉県トラック協会東部会館	春日部
		5/15・18・25・26	川口機械工業(協)・日本地工(株)	川 口
		5/25・26	川越地区労働基準協会・武州産業(株)	川 越
講	有機溶剤作業主任者技能講習	1/25・26	ヘリテイジ浦和 別所沼会館	連合会
		2/15・16	熊谷市立勤労会館	熊 谷
		2/26・27	ヘリテイジ浦和 別所沼会館	連合会・浦 和
		3/27・28	横瀬町町民会館	秩 父
習	特定化学物質及び 四アルキル鉛等作業主任者技能講習	5/9・10	ヘリテイジ浦和 別所沼会館	連合会・川 口
		1/15・16	埼玉医科大学かわごえクリニック	連合会・川 越
		1/23・24	ヘリテイジ浦和 別所沼会館	連合会・川 口
		3/5・6	ヘリテイジ浦和 別所沼会館	連合会
等	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	3/18・19	所沢市民文化センター ミューズ	連合会・所 沢
		4/15・16	熊谷市立勤労会館	連合会・熊 谷
	乾燥設備作業主任者技能講習	2/13～15	埼玉医科大学かわごえクリニック	連合会
		2/7・8	埼玉医科大学かわごえクリニック	連合会
	鉛作業主任者技能講習	2/29・3/1	埼玉医科大学かわごえクリニック	連合会
		1/16・17	埼玉医科大学かわごえクリニック	連合会・浦 和
	安全管理者選任時研修	5/30・31	熊谷市立勤労会館	連合会・熊 谷
		2/5・6	埼玉医科大学かわごえクリニック	連合会・浦 和
	安全衛生推進者養成講習	4/10・11	横瀬町町民会館	秩 父
		2/9	埼玉医科大学かわごえクリニック	連合会・浦 和
衛生推進者養成講習	2/16	春日部市民文化会館	連合会・春日部	
	特別教育	1/30	建産連研修センター	浦 和
動力プレスの金型等の取付け 取外し又は調整等業務特別教育		3月予定	さいたま市産業振興会館	大 宮
		4/12	川越地区労働基準協会講習室	川 越
別	低圧電気取扱業務特別教育	3/4	熊谷市立勤労会館	熊 谷
		5/8	横瀬町町民会館	秩 父
教	フルハーネス墜落制止用器具特別教育	5/29	横瀬町町民会館	秩 父
	粉じん作業従事者特別教育	3/4	建産連研修センター	浦 和
育	自由研削用といし 取替え業務特別教育	1/23	春日部市民文化会館	春日部
		2/2	熊谷市立勤労会館	熊 谷
		4/19	川越地区労働基準協会講習室	川 越
等	アーク溶接等の業務に係る特別教育	1/23・24	カルタスホール	浦 和
	産業用ロボットの 教示・検査等業務の特別教育	1/29・30	埼玉医科大学かわごえクリニック	連合会
その他の講習		職長等監督者安全衛生教育	2/19・20	熊谷市立勤労会館
	2/7・8		春日部市民文化会館	春日部
	2/14・15		川口機械工業協同組合	川 口
	2/14・15		行田市商工センター	行 田
5/13・14	狭山市民交流センター・コミュニティホール	所 沢		
	5/30・31	川越地区労働基準協会講習室	川 越	

講習等の種類		開催月/日	開催場所	主・共催者等
	職長等能力向上教育	1/24	行田市商工センター	行田
		1/30	さいたま市産業振興会館	大宮
そ	新入者安全衛生教育	4/3	入間市産業文化センター	所沢
		4/5	埼玉医科大学かわごえクリニック	川越
		4/9 予定	春日部市民文化会館	春日部
		4/18	行田市商工センター	行田
		4/18	川口機械工業協同組合	川口
		4/26	熊谷市立勤労会館	熊谷
		2/9	川越地区労働基準協会講習室	川越・所沢
の	KYTリーダー研修会	2/19	埼玉医科大学かわごえクリニック	連合会
		2/23	埼玉医科大学かわごえクリニック	連合会
他	保護具着用管理責任者教育	1/18	行田市商工センター	行田
		1/23	川越地区労働基準協会講習室	川越
		1/31	横瀬町町民会館	秩父
		2/1	横瀬町町民会館	秩父
		2/16	さいたま市産業振興会館	大宮
		3/8	建産連研修センター	浦和
		3/12	川越地区労働基準協会講習室	川越
		3/13	熊谷市立勤労会館	熊谷
		5/14	川越地区労働基準協会講習室	川越
		2/21	行田市商工センター	行田
		4/13	秩父みどりが丘工業団地地区センター	秩父
		2/26	さいたま市産業振興会館	大宮
		1/24	本庄商工会議所	熊谷
		1/26	熊谷市立勤労会館	熊谷
		1/29	深谷市上柴公民館	熊谷
講	労働管理講習会	1/30	入間市産業文化センター	所沢
		1/31	春日部市民文化会館	春日部
		2/1	ワークヒルズ羽生	行田
		2/7	横瀬町町民会館	秩父
		2/9	各自PC	大宮・浦和
		2/14	埼玉医科大学かわごえクリニック	川越
		2/27	川口労働基準監督署	川口
		2/14	狭山市市民会館	所沢
		2/2	ベルヴィ・ザ・グラン	所沢
		1/24	呉竹社	大宮
		2/8	JR総合車両センター・大宮氷川神社	大宮
		2/8	マロウドイン熊谷	熊谷
		5/22	農園ホテル	秩父
		5/29	むさしの村さくらほーる	行田
		習	教育等	2/21
4/13	秩父みどりが丘工業団地地区センター			秩父
2/26	さいたま市産業振興会館			大宮
1/24	本庄商工会議所			熊谷
1/26	熊谷市立勤労会館			熊谷
1/29	深谷市上柴公民館			熊谷
1/30	入間市産業文化センター			所沢
1/31	春日部市民文化会館			春日部
2/1	ワークヒルズ羽生			行田
2/7	横瀬町町民会館			秩父
2/9	各自PC			大宮・浦和
2/14	埼玉医科大学かわごえクリニック			川越
2/27	川口労働基準監督署			川口
2/14	狭山市市民会館			所沢
2/2	ベルヴィ・ザ・グラン			所沢
1/24	呉竹社	大宮		
2/8	JR総合車両センター・大宮氷川神社	大宮		
2/8	マロウドイン熊谷	熊谷		
5/22	農園ホテル	秩父		
5/29	むさしの村さくらほーる	行田		

令和六年一月一日発行
隔月一回発行第二八六号

「労働基準ニュース」

編集兼発行者 星野定美

発行所 (一社) 埼玉労働基準居会連合会 (さいたま市中央区新中里一三三三三)
印刷所 有会社 布施印刷所 (電話〇四八一八二一三三六六)

☆各種講習会・行事についてのお申込み、問い合わせは各主催者へ

協会名	連合会	浦和	川口	大宮	熊谷
電話	048(822)3466	048(767)8575	048(258)3756	048(641)0003	048(525)1746
FAX	048(832)0351	048(767)8576	048(253)7620	048(641)0004	048(525)6506
協会名	川越	春日部	所沢	行田	秩父
電話	049(244)9422	048(736)8743	04(2922)8382	048(553)5300	0494(22)3020
FAX	049(242)0613	048(736)8791	04(2922)1727	048(553)5311	0494(22)3242